

校務改善NEWS 第14号

発行日 平成27年9月10日

発行 校務改善推進会議
事務局 東京都教育庁人事部職員課
新宿区西新宿2-8-1 都庁第一庁舎北側36階

校務改善事業発表会

日時 平成27年11月12日(木)
午後2時30分～午後5時
(終了予定)

場所 中野ZERO 小ホール

内容 取組報告
基調講演
パネルディスカッション
などを予定しております。

校務改善のヒントが盛りだくさんです。
是非、御参加ください。

目次

- ・ 校務改善とは？ その1 ～役割分担の明確化～
- ・ 校務改善 平成27年度の取組
- ・ 平成27年度 第1回校務改善推進会議 実践報告

校務改善とは？ その1 ～役割分担の明確化～

校務改善とは、教職員がより組織的に校務を行い、効率的な学校運営体制を実現することで、教職員が子供と向き合える時間を十分に確保し、更なる教育の充実を図っていくための不断の取組です。

東京都では、平成24年3月に「小中学校の校務改善推進プラン」を作成し、小中学校において推進すべき施策を提案しました。

校務改善の具体的方策として、「役割分担の明確化」、「業務改善」、「教職員の資質・能力の向上」、「教職員の意欲向上」があげられています。

本号では、「役割分担の明確化」について具体的な例と成果を紹介します。

「小中学校の校務改善推進プラン」より 業務実態調査における、 多忙感の少ない学校の実例 ～役割分担の明確化～

- ・ 管理職が教職員の個々の成長の余地に応じて、役割分担を実施している。
- ・ 機能的な校務分掌を作成し、定期的に更新している。
- ・ 管理職が、組織・人を動かす方法を考え、仕事を任せる努力をしている。
- ・ 学校現場で実施する必要がない業務（社会教育等）は、区市町村教育委員会が実施している。

【取組例】 経営支援部を設置して、校務分掌の整理を行う。

【取組の方法例】

- (1) 分掌の仕事内容の洗い出しをする。
- (2) 仕事内容の分類をする。
仕事内容を、
 - ① 年間を通して日常的に行う業務
 - ② 定期的（月・学期に1回など）に行うが、常時性の少ない業務
 - ③ 年度末の作業や大型行事など、その期間は繁忙だが、年間1回の業務に分類する。
- (3) 仕事量が均等になるように分掌の整理をしたり、人員の配置をしたりする。

【効果】

- ☑ 重複する業務がなくなった。
- ☑ どの分掌組織にも属さない業務の分担が明確化した。
- ☑ 副校長に集中しがちであった業務を分担できるようになったことで、本来管理職として担うべき業務（人材育成や地域連携など）にシフトできるようになった。

【取組例】 部会や委員会の統合を行い、校務分掌の整理を行う。

【取組の方法例】 部会や委員会を統合し、校務分掌組織をコンパクトにする。

教務部 + 研究推進委員会
生活指導部 + 特別支援委員会
特別活動部 + 行事委員会

生活指導部 + 特別支援委員会
研究推進部 + 学力向上委員会
特別活動部 + 行事委員会
体育部 + 健康安全委員会
(教務部は、全員で分担)

- ・ 組合せは、学校経営方針の重点によって変わってくる。
- ・ 統合後の部会の数も、1学年の学級数等によって変わってくる。

【効果】

- ☑ 各分掌組織の会議時間の短縮や回数の削減につながった。
- ☑ 企画運営会議、職員会議等の既存組織の見直しにつながった。

校務改善 平成27年度の取組

～効率的な運営と確実な業務遂行に向けた組織運営～

今年度の取組の課題を「効率的な運営と確実な業務遂行に向けた組織運営」と設定しました。

役割分担や業務ラインの整理、時間の使い方の見直し、校長のリーダーシップの発揮や教職員の意識改革など、組織運営の側面から校務改善を検討し、効率的な運営と確実な業務遂行を目指していきます。

推進の取組方法（例）

- ◆効率的な運営のために
 - ・ 副校長の業務の洗い出しと再分担
 - ・ 校務分掌における役割分担の明確化
 - ・ 管理職のリーダーシップの発揮
- ◆確実な業務遂行のために
 - ・ 業務ラインを意識した校内組織の改編
 - ・ 業務ラインを意識した会議の精選

推進の取組効果（例）

- ・ 役割分担の明確化
- ・ 分掌の責任の明確化
- ・ 分掌間の連絡・調整の効率化
- ・ 校務の確実な遂行
- ・ 会議のスリム化
- ・ 校務に関する意識改革
- ・ 校長・副校長のリーダーシップの発揮

平成27年度 第1回校務改善推進会議 実践報告

昭島市立拝島第二小学校

「校務改善の推進～経営支援部の活用～」

第1回校務改善推進会議で実践報告を頂いた、昭島市立拝島第二小学校の校務改善について、一部を紹介します。

昭島市立拝島第二小学校では、経営支援部を立ち上げて、校務改善を行っています。経営支援部を立ち上げたきっかけは、以下の4点です。

- (1) 副校長の負担軽減のために
- (2) 教職員の経営参画意識の向上のために
- (3) 運営組織の見直しのために
- (4) 経験の少ない教員の育成のために

経営支援部員の構成は、以下のとおりです。

- ・ 校長
- ・ 副校長
- ・ 主幹（3名）
- ・ 主任教諭（3名）
- ・ 事務
- ・ 用務

(1) 副校長の負担軽減のために、経営支援部員で、運営事務・調査対応の分担をしています。

- 【教育委員会】
- ・ 庶務課 → 副校長・事務
 - ・ 教職員係 → 副校長
 - ・ 学務係 → 副校長・主幹 I
 - ・ 指導係 → 主幹 I
 - ・ 特支係 → 主幹 I

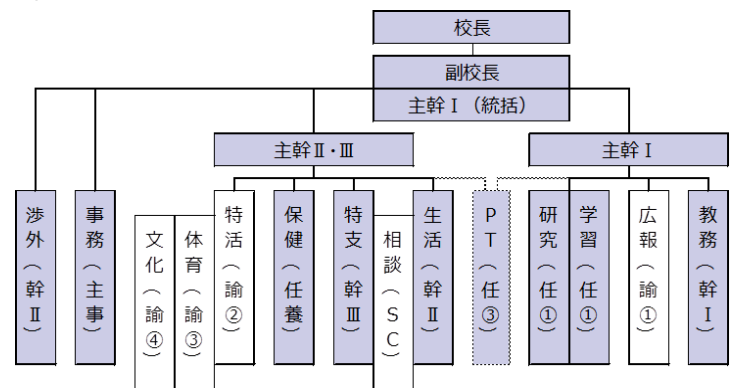
(2) 教職員の経営参画意識向上のために、経営支援部が効果的に作用しています。

言語力向上拠点校として読書活動の充実を目指したり、環境教育の推進をしたりするにあたり、施設面の管理や整備は必須とです。それらを担うのが、用務職員です。

用務職員は、経営支援部員として、校長の経営方針の実現を目指し、低予算で手作りの読書コーナーを作成したり、緑のカーテンの網を設置したりと、活躍しています。



(3) 運営組織見直しのために、また (4) 経験の少ない教員の育成のために、経営支援部員がリーダーシップを発揮できるような組織をつくりました。



教員は、①学習・研究部、②生活部、③特支部、④保健部、⑤特活部のうち、いずれか一つの部に所属します。（日常的な業務として、①教務、②広報、③P Tの担当を別にあてます。）会議の時間は週に1回15分設定しています。一度に五つの部が会議を行うことができるので、時間の負担も少なくなり、授業の準備等に時間を取れるようになりました。

また、主幹から部へとラインを整え、分掌を管轄する経営支援部員による分掌主任への指導・助言を期待しています。経営支援部員はリーダーシップを発揮するとともに、育成を意識して校務に当たります。

校務改善ホームページ

東京都教育委員会のホームページ下方にバナーがあります。



「小中学校の校務改善推進プラン」の全文や昭島市立拝島第二小学校の実践も詳しく載っています。